

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	美容キャリアデザインⅠ			
実務家教員				
学部・学科	美容科			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
授業時間	1 5 0 時間			
授業回数	7 5 回			
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る			
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する			
教科書	各テキスト			
特記				
授業計画	1	色彩学 色彩と文化	41	コンピュータ実務 Word 文字列①
	2	色彩学 〃	42	コンピュータ実務 Word 文字列②
	3	色彩学 色と生活、色の種類	43	コンピュータ実務 Word 文字列③
	4	色彩学 〃	44	コンピュータ実務 Word 表の作成
	5	色彩学 色彩理論	45	コンピュータ実務 Word 表の変更
	6	色彩学 〃	46	コンピュータ実務 Word リストの作成、変更
	7	色彩学 色の感情効果、配色効果	47	コンピュータ実務 Word 記号の作成、管理
	8	色彩学 配色練習	48	コンピュータ実務 Word 標準の参考資料作成
	9	色彩学 色彩とファッション	49	コンピュータ実務 Word グラフィック要素
	10	色彩学 〃	50	コンピュータ実務 Word 模擬テスト
	11	色彩学 配色練習	51	コンピュータ実務 Word 応用
	12	色彩学 パーソナルカラー	52	コンピュータ実務 Word 応用
	13	色彩学 配色練習	53	コンピュータ実務 Word 応用
	14	色彩学 直前模擬テスト	54	コンピュータ実務 Word 応用
	15	色彩学 直前模擬テスト	55	コンピュータ実務 Word 応用
	16	ビジネス基礎 漢字検定 3 級漢字の訓読み	56	就職実務 自己分析
	17	ビジネス基礎 〃 送り仮名	57	就職実務 自己分析
	18	ビジネス基礎 〃 熟語	58	就職実務 自己分析
	19	ビジネス基礎 〃 誤字	59	就職実務 企業研究
	20	ビジネス基礎 〃 訂正	60	就職実務 企業研究
	21	ビジネス基礎 〃 同音異義	61	就職実務 サロン実習事前準備
	22	ビジネス基礎 〃 異字同訓	62	就職実務 サロン実習事前準備
	23	ビジネス基礎 漢字検定 3 級項目別復習	63	就職実務 サロン実習事前準備
	24	ビジネス基礎 漢字検定 3 級答練	64	就職実務 就職の心構え
	25	ビジネス基礎 漢字検定 3 級模擬テスト	65	就職実務 サロン実習事前準備
	26	ビジネス基礎 サービススタッフの資質	66	就職実務 サロン実習事前準備
	27	ビジネス基礎 〃	67	就職実務 求人票の見方
	28	ビジネス基礎 〃	68	就職実務 サロン実習事前準備
	29	ビジネス基礎 専門知識	69	就職実務 サロン実習事前準備
	30	ビジネス基礎 〃	70	就職実務 サロン実習事前準備
	31	ビジネス基礎 〃	71	就職実務 自己分析、別紙資格一覧作成
	32	ビジネス基礎 社会常識	72	就職実務 自己分析、別紙資格一覧作成
	33	ビジネス基礎 〃	73	就職実務 履歴書作成
	34	ビジネス基礎 〃	74	就職実務 履歴書作成
	35	ビジネス基礎 対人技能	75	就職実務 スーツセミナー、メイクセミナー
	36	コンピュータ実務 Word 文書の作成		
	37	コンピュータ実務 Word 文書内の移動		
	38	コンピュータ実務 Word 文書の書式設定		
	39	コンピュータ実務 Word オプションの設定		
	40	コンピュータ実務 Word 文書の印刷、保存		
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講区分	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20 時間
授業回数	10 回
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	1 法制度の概要（社会人における法の役割）
	2 法制度の概要（法の形式、衛生法規の概要）
	3 法制度の概要（理容師・美容師と附属法令、衛生行政の意義と歴史）
	4 衛生行政の概要（衛生行政の分類と生活衛生行政の内容、衛生行政を担う行政機関）
	5 美容師法（目的、用語の定義）
	6 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）
	7 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）
	8 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）
	9 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）
	10 確認テスト・解答・解説
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	衛生管理 I	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	5 0 時間	
授業回数	2 5 回	
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	公衆衛生の意義と課題、公衆衛生発展の歴史
	2	公衆衛生発展の歴史、理容師・美容師と公衆衛生、保健所と理容業・美容業
	3	保健（母子保健）
	4	保健（成人・高齢者保健①）
	5	保健（成人・高齢者保健②）
	6	保健（成人・高齢者保健③）
	7	保健（精神保健）
	8	確認テスト 1、解答・解説
	9	環境衛生の概要（環境衛生の内容、環境衛生の目的と意義、環境衛生活動）
	10	空気環境（空気と健康、温度、湿度、気流（風）と健康）
	11	衣服・住居の衛生（衣服の衛生、住居の衛生）
	12	上・下水道と廃棄物（上水道、下水道、廃棄物）
	13	衛生害虫、ネズミ
	14	環境保全
	15	確認テスト 2、解答・解説
	16	人と感染症（感染症発見の歴史、感染症と法律）
	17	人と感染症（感染症の分類）
	18	病原微生物（微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造、微生物の増殖と環境の影響）
	19	感染症の予防（微生物の病原体と人体の感受性、汚染、感染及び発病）
	20	感染症の予防（常在細菌叢、免疫と予防接種、感染症発生の要因）
	21	感染症の予防（感染症予防の 3 原則）
	22	主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症①）
	23	主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症②）
	24	主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症③）
	25	感染症まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト 50% 4 択 20 題と ○× 10 題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト 25% 講義後の小テストの解答状況 平常点 25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	保健 I	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	5 0 時間	
授業回数	2 5 回	
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の体表解剖学（眼とその周辺）
	2	頭部、顔部、頸部の体表細胞学（耳とその周辺、鼻とその周辺、口とその周辺、プロポーション）
	3	骨の種類と構造、骨の連結、骨格器系とそのはたらき
	4	筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらき
	5	表情筋と表情運動、理容・美容の作業と筋疲労
	6	神経系の成り立ち、中枢神経系とそのはたらき、末梢神経系とそのはたらき
	7	確認テスト 1、解答・解説
	8	視覚、聴覚
	9	平衡感覚、味覚
	10	嗅覚、皮膚感覚
	11	血液のあらまし、血液循環の仕組み
	12	血液の循環経路、心臓と血管のはたらき、リンパ管系の仕組みとはたらき
	13	呼吸器系のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換
	14	呼吸運動、消化器系のあらまし、消化管の仕組み（口腔、唾液腺）
	15	消化管の仕組み（食道、胃、腸）、消化管のはたらき、消化と物質代謝
	16	確認テスト 2、解答・解説
	17	皮膚の表面、皮膚の断面、表皮
	18	表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差
	19	毛（毛の構造、毛の形と毛の成長周期、毛の型の変化）
	20	毛（毛の成長、毛の性状、立毛筋）
	21	脂腺、汗腺、爪
	22	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経
	23	体外保護作用、体温調節作用
	24	知覚神経と皮膚反射、分泌排泄作用、呼吸作用、吸収作用、貯蔵作用
	25	免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト 50% 4 択 20 題と ○ × 10 題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト 25% 講義後の小テストの解答状況 平常点 25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	化粧品化学 I	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	混合物と純物質 水の化学式（元素、元素記号） 原子量
	2	溶解（極性分子、水） 水への溶解（糖質と溶解度）
	3	コロイド溶液（サスペンション、エマルジョン、エアロゾル） 酸と塩基
	4	中和反応と塩 PH 緩衝作用と緩衝液
	5	酸化・還元 炭水化物とタンパク質
	6	化学分野の復習
	7	確認テスト1・解答・解説
	8	化粧品の規制（薬事法、化粧品・医薬部外品の違い） 表示・広告の規制
	9	化粧品原料 人体各部の性状（皮膚、毛髪、爪、まぶた、口唇）
	10	水性原料 油性原料（油脂、不乾性油）
	11	ロウ類 炭化水素 高級脂肪酸
	12	界面活性剤（乳化、可溶化、分散、種類）
	13	高分子化合物（天然、半合成、合成、PVA、PVP）
	14	色材（無機顔料、有機顔料、光輝性顔料、天然色素）
	15	香料（天然香料、合成香料、調合香料）
	16	その他の配合成分（防腐剤、酸化防止剤、保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤）
	17	高分子化合物（合成樹脂） 石けん 化粧品
	18	クリーム 乳液
	19	まとめ・復習
	20	確認テスト2・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文化論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	1 理容美容の語義、理容美容と現代社会
	2 理容業・美容業の発生、江戸時代の理容業・美容業 前編
	3 〃 後編
	4 近代の理容業、美容業
	5 現代の理容業、美容業
	6 縄文・弥生・古墳時代、古代（飛鳥・奈良・平安時代）
	7 中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）、近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）
	8 近世Ⅱ（江戸時代）
	9 近代（明治・大正・昭和20年まで）
	10 現代Ⅰ（1945年～1950年代）、現代Ⅱ（1960年～1970年代）
	11 現代Ⅲ（1980年～1990年代）、現代Ⅳ（2000年代以降）
	12 確認テスト1・解答・解説
	13 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ
	14 古代ゲルマン、中世ヨーロッパ
	15 近世Ⅰ（16世紀）、近世Ⅱ（17世紀）
	16 近世Ⅲ（18世紀）、近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）
	17 近代Ⅱ（19世紀）、現代Ⅰ（1910年代～1920年代）
	18 現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）、現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）
	19 ファッション文化史（西洋編）まとめ
	20 確認テスト2・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	美容技術理論Ⅰ			
実務家教員	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習・実習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る			
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする			
教科書	テキスト（教育センター発行）			
特記				
授業計画	1	美容理論と美容技術	31	ヘアセッティング(リフトカール)
	2	美容技術における道具	32	ヘアセッティング(メイボールカール)
	3	シザーズ、レザー	33	ヘアセッティング(クロッキノールカール)
	4	ピン類、ヘアクリップ、ローラー	34	ヘアセッティング(ヘアウェービング)
	5	シャンプーイング総論①	35	ヘアセッティング 定例試験
	6	シャンプーイング総論②	36	ローラーカーリング
	7	リンス・コンディショナー①	37	ヘアカラーリング概論
	8	リンス・コンディショナー②	38	ヘアカラーのタイプ別特徴
	9	リンス・コンディショナー③	39	色の基本、毛髪レベルとアンダートーン
	10	リンス・コンディショナー④	40	パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項
	11	スキャulptトリートメント①	41	酸化染毛剤の技術手順
	12	スキャulptトリートメント②	42	確認テスト2、解答・解説
	13	スキャulptトリートメント③	43	ヘアカラーリング①
	14	序章～2章 定例試験	44	ヘアカラーリング②
	15	美容とデザイン①	45	技術論Ⅰ まとめ
	16	美容とデザイン②		
	17	美容とデザイン③		
	18	ヘアカッティングとは		
	19	ヘアカッティングの基礎理論		
	20	ベーシックなカット技法		
	21	シザーズによるカット技法		
	22	レザーによるカット技法		
	23	パーマメントウェーブの理論		
	24	パーマの分類、パーマ剤に関する注意		
	25	パーマメントウェーブ技術		
	26	3～5章 定例試験		
	27	ヘアセッティングとは		
	28	ヘアカーリング		
	29	ヘアウェービング		
	30	ヘアセッティング		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50％ 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25％ 講義後の小テストの解答状況 平常点25％ 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運営管理 I	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	経営が必要とされる理由～経営戦略が目指すもの 顧客に選ばれるよい店の実現
	2	業界の概要～理容業・美容業の顧客について
	3	資金管理の重要性～税金について
	4	人という資源とは～労働者の権利
	5	健康管理の基礎～理容・美容の作業環境に関する健康問題
	6	社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任
	7	確認テスト1・解答・解説
	8	顧客が求める価値～サービスの範囲
	9	理容業・美容業のマーケティング～サービスのシステム化
	10	接客についての理解～接客の実践③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	美容実習Ⅰ		
実務家教員	○		
学部・学科	美容科		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習・実習		
授業時間	390時間		
授業回数	195回		
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする		
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する		
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする		
教科書	テキスト（教育センター発行）		
特記			
授業計画	1	ワインディング（道具の使い方①）	53 ワインディング（左バックへの確認）
	2	ワインディング（道具の使い方②）	54 "
	3	ワインディング（ブロッキング①）	55 ワインディング（フロントの確認）
	4	ワインディング（ブロッキング②）	56 "
	5	ワインディング（ブロッキングの確認）	57 ワインディング（右バックへの確認）
	6	"	58 "
	7	ワインディング（上巻きの巻き方）	59 ワインディング（左バックへの確認）
	8	"	60 "
	9	ワインディング（上巻きの確認）	61 ワインディング（全頭タイム計測）
	10	"	62 "
	11	ワインディング（下巻きの巻き方）	63 "
	12	"	64 "
	13	ワインディング（下巻きの確認）	65 ワインディング（全頭タイム計測35分）
	14	"	～
	15	ブロッキングのタイム計測	70
	16	"	71 ワインディング綺麗巻き
	17	ワインディング（ステムの確認）	～
	18	"	78
	19	ワインディング（ステム角度）	79 ワインディング（全頭タイム計測30分）
	20	"	～
	21	ワインディング（シェイプの基本）	98
	22	"	99 ワインディング（全頭タイム計測25分）
	23	ワインディング（上巻きと下巻き）	～
	24	"	118
	25	ワインディング（センターの巻き方）	119 ワインディング（全頭タイム計測20分）
	26	"	～
	27	"	138
	28	"	139 学内コンテスト準備（タイム計測）
	29	ブロッキングタイム計測	～
	30	"	148
	31	センタータイム計測	149 学内コンテストリハーサル
	32	"	150 "
	33	"	151 学内コンテスト
	34	"	152 "
	35	ワインディング（右フロントへの巻き方）	153 "
	36	"	154 オールウェーブウィッグ作成
	37	ワインディング（右フロント～パの確認）	155 "
	38	"	156 オールウェーブ（道具の使い方）
	39	ワインディング（右バックへの巻き方）	157 オールウェーブ（ローション塗布）
	40	"	158 オールウェーブ（コームの持ち方）
	41	ワインディング（右バックへの確認）	159 オールウェーブ（シェープの仕方）
	42	"	160 オールウェーブ（Cカールの作り方）
	43	センター綺麗巻き	161 "
	44	"	162 オールウェーブ（Cカールの作り方2段）
	45	"	163 "
	46	"	164 オールウェーブ（Cカールの作り方4段）
	47	ワインディング（左フロントへの巻き方）	165 "
	48	"	166 Cカール4段確認
	49	ワインディング（左フロントへの確認）	167 "
	50	"	168 サロン実務実習
	51	ワインディング（左バック～巻き方）	～
	52	"	195
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の平均で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	職業実践 I		
実務家教員	○		
学部・学科	美容科		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必修		
授業方法	演習・実習		
授業時間	1 5 0 時間		
授業回数	7 5 回		
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する		
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る		
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	サイドシャンブー導入①	39 メイク ”
	2	サイドシャンブー導入②	40 メイク 実技（ポイントメイク）
	3	サイドシャンブー（1シャンブー手順）	41 メイク ”
	4	”	42 メイク 実技（アイブロウ）
	5	サイドシャンブー 1シャンブー	43 メイク ”
	6	”	44 メイク 実技（～アイシャドウ）
	7	”	45 メイク ”
	8	”	46 メイク メイク理論（ベースメイク）
	9	サイドシャンブー 2シャンブー	47 メイク ”
	10	”	48 メイク メイク理論テスト 解答・解説
	11	サイドシャンブー 2シャンブー相モデル	49 メイク 実技 テスト前演習
	12	”	50 メイク 実技メイクテスト
	13	”	51 カット（シザー、コームの使い方）
	14	”	52 ワンレングスカット①
	15	サイドシャンブーテスト	53 ワンレングスカット②
	16	ヘッドスパ手順説明	54 ワンレングスカット③
	17	”	55 グラデーションカット①
	18	ヘッドスパ 相モデル	56 グラデーションカット①
	19	”	57 グラデーションカット②
	20	”	58 グラデーションカット③
	21	ヘアデザイン 道具の使い方	59 グラデーションカット④
	22	ヘアデザイン アップスタイル	60 グラデーションカット⑤
	23	ヘアデザイン ダウンスタイル	61 グラデーションカット⑥
	24	ヘアデザイン 夜会巻き	62 グラデーションカット⑦
	25	ヘアデザイン 夜会巻きテスト	63 ブロー①
	26	メイク メイク理論①	64 ブロー②
	27	メイク メイク理論②	65 パーマ①
	28	メイク メイク理論③	66 パーマ②
	29	メイク 実技（クレンジング）	67 ブリーチ①
	30	メイク メイク理論	68 ブリーチ②
	31	メイク 実技（クレンジング～乳液）	69 ブリーチ③
	32	メイク ”	70 ”
	33	メイク 実技（スキんケアの目的）	71 ウィッグ制作（ブリーチ）
	34	メイク 実技（ベースメイク①）	72 ”
	35	メイク ”	73 ウィッグ制作（カラーリング）
	36	メイク 実技（ベースメイク②）	74 ”
	37	メイク ”	75 ウィッグ制作（スタイリング）
	38	メイク 実技（ベースメイク③）	
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の前平均で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	美容キャリアデザインⅡ			
実務家教員				
学部・学科	美容科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る			
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する			
教科書	各テキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータ実務 Excel 作成と管理①	31	応用理論 関係法規 復習
	2	コンピュータ実務 Excel 作成と管理②	32	応用理論 関係法規 復習
	3	コンピュータ実務 Excel テーブル①	33	応用理論 関係法規 確認テスト
	4	コンピュータ実務 Excel テーブル②	34	応用理論 公衆・環境 復習
	5	コンピュータ実務 Excel 関数①	35	応用理論 公衆・環境 復習
	6	コンピュータ実務 Excel 関数②	36	応用理論 公衆・環境 確認テスト
	7	コンピュータ実務 Excel 関数③	37	応用理論 感染症 復習
	8	コンピュータ実務 Excel 関数④	38	応用理論 感染症 復習
	9	コンピュータ実務 Excel 関数⑤	39	応用理論 感染症 確認テスト
	10	コンピュータ実務 Excel 関数⑥	40	応用理論 衛生管理技術 復習
	11	コンピュータ実務 Excel グラフ①	41	応用理論 衛生管理技術 復習
	12	コンピュータ実務 Excel グラフ②	42	応用理論 衛生管理技術 確認テスト
	13	コンピュータ実務 Excel グラフ③	43	応用理論 人体 復習
	14	コンピュータ実務 Excel グラフ④	44	応用理論 人体 復習
	15	コンピュータ実務 Excel 模擬テスト	45	応用理論 人体 確認テスト
	16	コンピュータ実務 Excel 応用	46	応用理論 皮膚科学 復習
	17	コンピュータ実務 Excel 応用	47	応用理論 皮膚科学 復習
	18	コンピュータ実務 Excel 応用	48	応用理論 皮膚科学 確認テスト
	19	コンピュータ実務 Excel 応用	49	応用理論 香粧品化学 復習
	20	コンピュータ実務 Excel 応用	50	応用理論 香粧品化学 復習
	21	就職実務 サロン実習（振り返り）	51	応用理論 香粧品化学 確認テスト
	22	就職実務 企業研究	52	応用理論 美容技術論 復習
	23	就職実務 志望動機	53	応用理論 美容技術論 復習
	24	就職実務 面接練習①	54	応用理論 美容技術論 確認テスト
	25	就職実務 面接練習②	55	応用理論 模擬テスト
	26	就職実務 面接力トレーニング	56	応用理論 美容師筆記試験 過去問題
	27	就職実務 職場のマナー①	57	応用理論 //
	28	就職実務 職場のマナー②	58	応用理論 //
	29	就職実務 挨拶と敬語	59	応用理論 //
	30	就職実務 面接模擬テスト	60	応用理論 //
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	関係法規・制度Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	10時間	
授業回数	5回	
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定
	2	美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定
	3	美容師法（立入検査と衛生監視員、違反者等に対する行政処分、罰則）
	4	関連法規
	5	関係法規テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	衛生管理Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	1 麻しん、百日せき、風しん
	2 細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎
	3 B型肝炎、C型肝炎、エイズ、梅毒
	4 ラッサ熱、ペスト、デング熱、具体的な対策例
	5 確認テスト3・解答・解説
	6 消毒とは、消毒の意義
	7 消毒に関連のある法の規定
	8 消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用、保存の注意
	9 紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒
	10 アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒、界面活性剤消毒、グルコン酸
	11 すぐれた消毒法と実施上の注意、希釈倍数
	12 器具類の消毒法
	13 美容所の清潔法の実際
	14 衛生管理の実践例 目的、施設及び設備、管理
	15 衛生的扱い等、消毒～自主的管理体制、美容所の自主管理点検表
	16 確認テスト4・解答・解説
	17 公衆衛生、環境衛生 復習
	18 感染症 復習
	19 衛生管理技術 復習
	20 衛生管理テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	保健Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	皮膚と全身状態～皮膚と体内病変
	2	皮膚の水分と脂の状態～皮膚・付属機関とホルモン
	3	皮膚の保護と手入れ～子どものおしゃれによる皮膚トラブル
	4	皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹（カブレ前半）
	5	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹（カブレ後半～湿疹患者のケア）
	6	分泌異常のによる皮膚疾患～ウイルスによる皮膚疾患
	7	真菌による皮膚疾患～感染症の皮膚疾患の予防
	8	毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍
	9	確認テスト4・解答・解説
	10	皮膚科学 復習
	11	皮膚科学 テスト、解説
	12	人体 人体の構造、骨格器系 復習
	13	人体 筋系、神経系 復習
	14	人体 感覚器系、血液・循環器系 復習
	15	人体 呼吸器系、消化器系 復習
	16	皮膚科学 皮膚の構造、皮膚付属器官の構造 復習
	17	皮膚科学 皮膚の循環器系と神経系、皮膚と皮膚付属器官の生理機能 復習
	18	皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の保健 復習
	19	皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の疾患 復習
	20	保健テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50％ 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25％ 講義後の小テストの解答状況 平常点25％ 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	香粧品化学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	香粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	シャンプー リンス スタイリング剤
	2	パーマ剤（第1剤と第2剤の違い） 一時染毛剤
	3	永久染毛剤
	4	育毛剤
	5	芳香製品（香水、オーデコロン） サンケア製品（サンスクリーン製品、サンタン製品）
	6	まとめ・復習
	7	香粧品テスト・解答・解説
	8	国家試験対策（過去問）
	9	”
	10	”
成績評価方法 (試験実施方法)	項目	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する
備考	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文化論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	現代Ⅳ（1960年代）、現代Ⅴ（1970年代）
	2	現代Ⅳ（1980年代）、現代Ⅶ（1990年代～2010年）
	3	ファッション文化史（西洋編）まとめ
	4	和装の礼装
	5	洋装の礼装
	6	第1章（総論）、第2章（第1節～第4節）復習
	7	第3章（第1節～第10節）復習
	8	第4章（第1節～第17節）復習
	9	第5章（礼装の種類）復習
	10	確認テスト3・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	1 エステティック概論、皮膚の生理と構造、カウンセリング
	2 美容におけるマッサージ理論、フェイシャルケア技術
	3 フェイシャル及びデコルテマッサージ、フェイシャルパック
	4 ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能、爪のカットの形状
	5 ネイル技術と公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア
	6 アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
	7 着付けの理論と技術（実習：浴衣着付け）
	8 メイクアップ概論、顔の形態学的な観察
	9 メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メイクアップの道具
	10 スキンケア、ベースメイクアップ
	11 アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ
	12 リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ
	13 まつ毛エクステンション
	14 メイクアップ（実習：まつ毛エクステンション）
	15 8～10章まとめ
	16 確認テスト3、解答・解説
	17 日本髪①
	18 日本髪②
	19 着付け①
	20 着付け②
	21 着付け③
	22 11～12章まとめ
	23 確認テスト4、解答・解説
	24 序～1章 復習まとめ
	25 2章 復習まとめ
	26 3～4章 復習まとめ
	27 5章 復習まとめ
	28 6章 復習まとめ
	29 7章 復習まとめ
	30 技術論 総まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト50％ 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25％ 講義後の小テストの解答状況 平常点25％ 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運営管理Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	10時間	
授業回数	5回	
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	接客の実践④～問題を深刻化させないための対策・対処
	2	確認テスト・解答・解説
	3	経営者の視点、人という資源 復習
	4	顧客のために 復習
	5	運営管理テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	美容実習Ⅱ		
実務家教員	○		
学部・学科	美容科		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習・実習		
授業時間	510時間		
授業回数	255回		
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする		
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する		
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする		
教科書	テキスト（教育センター発行）		
特記			
授業計画	1	オールウェーブ（Cカール4段）	65 オールウェーブ（1～3段確認）
	2	〃	66 〃
	3	オールウェーブ（Cカール確認）	67 オールウェーブ（4～7段確認）
	4	〃	68 〃
	5	オールウェーブ（リッジの作り方）	69 オールウェーブ（全頭確認）
	6	〃	70 〃
	7	オールウェーブ（リッジの作り方確認）	71 〃
	8	〃	72 〃
	9	オールウェーブ（リッジ2段の作り方）	73 オールウェーブ（全頭タイム計測）
	10	〃	74 〃
	11	オールウェーブ（リッジ2段確認）	75 〃
	12	〃	76 〃
	13	オールウェーブ（リッジ4段の作り方）	77 〃
	14	〃	78 〃
	15	オールウェーブ（リッジ4段確認）	79 学外コンテスト準備（
	16	〃	～
	17	リッジ4段確認	98
	18	〃	99 学生技術選手権準備
	19	オールウェーブ（1段目の手順）	～
	20	オールウェーブ（スカルプチュアカール	118
	21	オールウェーブ（1段目の確認）	119 カット（道具の使い方、セッティング）
	22	オールウェーブ（スカルプチュアカール	120 カット（ブロッキングの取り方）
	23	オールウェーブ（1段目の確認）	121 カット（ポイントの長さの切り方）
	24	〃	122 カット（フロントの切り方）
	25	オールウェーブ（2段目のシェーブ）	123 カット（アウトラインの切り方）
	26	オールウェーブ（2段目リッジ）	124 カット（ネイブの切り方）
	27	オールウェーブ（2段目シェーブの確認）	125 カット（バックミドルの切り方）
	28	オールウェーブ（2段目リッジの確認）	126 カット（右サイドの切り方）
	29	オールウェーブ（1～2段の確認）	127 カット（左サイドの切り方）
	30	〃	128 カット（フロントの切り方）
	31	オールウェーブ（3段目のシェーブ）	129 カット（もみあげの切り方）
	32	オールウェーブ（スカルプチュアカール	130 カット（みつえりの切り方）
	33	オールウェーブ（3段目シェーブの確認）	131 カット（チェックカット）
	34	オールウェーブ（スカルプチュアカール	132 カット（修正ポイント）
	35	オールウェーブ（3段目の確認）	133 カット（ブロッキング～フロント確認）
	36	〃	134 〃
	37	オールウェーブ（1～3段の確認）	135 カット（アウトライン～ネイブ確認）
	38	〃	136 〃
	39	1～3段目の確認	137 カット（バック～サイド確認）
	40	〃	138 〃
	41	オールウェーブ（4段目のシェーブ）	139 カット（フロント～チェック）
	42	オールウェーブ（リフトカール）	140 〃
	43	オールウェーブ（4段目シェーブの確認）	141 カット（全頭タイム計測）
	44	オールウェーブ（リフトカール）	～
	45	オールウェーブ（4段目の確認）	148
	46	〃	149 学内コンテスト準備
	47	オールウェーブ（5段目のシェーブ）	～
	48	オールウェーブ（逆リフトカール）	158
	49	オールウェーブ（5段目のシェーブ）	159 学内コンテストリハーサル
	50	オールウェーブ（逆リフトカール）	160 〃
	51	オールウェーブ（5段目の確認）	161 学内コンテスト
	52	〃	162 〃
	53	オールウェーブ（6段目のシェーブ）	163 衛生技術の理解
	54	オールウェーブ（メイボールカール）	164 〃
	55	オールウェーブ（6段目のシェーブ）	165 技術マニュアルの確認
	56	オールウェーブ（メイボールカール）	166 〃
	57	オールウェーブ（6段目の確認）	167 道具の清掃
	58	〃	168 〃
	59	オールウェーブ（7段目のシェーブ）	169 国試対策
	60	オールウェーブ（クロッキノール）	～
	61	オールウェーブ（7段目のシェーブ）	227
	62	オールウェーブ（クロッキノール）	228 サロン実務実習
	63	オールウェーブ（7段目の確認）	～
	64	〃	255
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の平均で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	職業実践Ⅱ		
実務家教員	○		
学部・学科	美容科		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択必修		
授業方法	演習・実習		
授業時間	180時間		
授業回数	90回		
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する。		
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る。		
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する。		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	バックシャンパー導入①	77 テクニカル *
	2	バックシャンパー導入②	78 テクニカル ウイッグ制作（メイク）
	3	バックシャンパー 1シャン①	79 テクニカル *
	4	バックシャンパー 1シャン②	80 テクニカル 制作（スタイリング）
	5	バックシャンパー 1シャンパー相モデル	81 テクニカル 制作発表
	6	*	82 テクニカル ヘアスタイル制作
	7	*	83 テクニカル 制作（カット）
	8	*	84 テクニカル *
	9	バックシャンパー 2シャンパー	85 テクニカル 制作（セニング）
	10	模擬テスト	86 テクニカル *
	11	ヘアデザイン デザイン考案	87 テクニカル 制作（カラーリング）
	12	ヘアデザイン デザイン考案・試作	88 テクニカル *
	13	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	89 テクニカル 制作（スタイリング）
	14	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	90 テクニカル 制作 発表
	15	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	
	16	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	
	17	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	
	18	ヘアデザイン ウイッグ制作（カラー）	
	19	ヘアデザイン ウイッグ制作（試作）	
	20	ヘアデザイン ウイッグ制作（試作）	【選択授業】
	21	イベント ガイダンス	66 メイク オリエンテーション
	22	イベント スタイル考案	67 メイク ポイントクレンジング
	23	イベント スタイル考案	68 メイク クレンジング
	24	イベント スタイル考案	69 メイク 化粧水
	25	イベント スタイル考案	70 メイク 乳液
	26	イベント スタイル考案	71 メイク ベース
	27	イベント 制作（ウィッグ練習）	72 メイク 手指消毒～ベース 手拭通し
	28	イベント 制作（ウィッグ練習）	73 メイク *
	29	イベント 制作（ウィッグ練習）	74 メイク 手指消毒～ベース 相モデル
	30	イベント 制作（ウィッグ練習）	75 メイク *
	31	イベント 制作（ウィッグ練習）	76 メイク *
	32	イベント 制作（ウィッグ練習）	77 メイク 手指消毒～
	33	イベント 制作（メイク練習）	78 メイク 通しメイク 相モデル
	34	イベント 制作（メイク練習）	79 メイク *
	35	イベント 制作（メイク練習）	80 メイク *
	36	イベント 制作（メイク練習）	81 メイク *
	37	イベント 制作（メイク練習）	82 メイク *
	38	イベント 制作（メイク練習）	83 メイク *
	39	イベント 制作（デモ練習）	84 メイク *
	40	イベント 制作（デモ練習）	85 メイク *
	41	イベント 制作（デモ練習）	86 メイク *
	42	イベント 制作（デモ練習）	87 メイク *
	43	イベント 制作（デモ練習）	88 メイク イメージメイク（90年代）
	44	イベント 制作（デモ練習）	89 メイク *
	45	イベント 制作（デモ練習）	90 メイク 傷メイク（アザ、切り傷）
	46	イベント 完成作品見直し	
	47	イベント 完成作品見直し	
	48	イベント 演出考案	
	49	イベント 演出考案	
	50	イベント 演出考案	
	51	イベント 演出考案	【選択授業】
	52	イベント 演出考案	66 アイティスト まつ毛エクステ入門
	53	イベント 演出考案	67 アイティスト 商材学①
	54	イベント ウォーキングの確認	68 アイティスト ツイーザーワーク
	55	イベント ウォーキングの確認	69 アイティスト 生理学、病理学
	56	イベント ウォーキングの確認	70 アイティスト 商材学②、テブワーク
	57	イベント ウォーキングの確認	71 アイティスト 装着レッスン
	58	イベント 通し練習	72 アイティスト 病理学
	59	イベント 通し練習	73 アイティスト 装着レッスン
	60	イベント プレステージ	74 アイティスト カウンセリング学
	61	イベント プレステージ	75 アイティスト 装着レッスン
	62	イベント 見直し	76 アイティスト アフターカウンセリング
	63	イベント 見直し	77 アイティスト 装着レッスン
	64	イベント ヘアショー	78 アイティスト 装着レッスン
	65	イベント ヘアショー	79 アイティスト デザイン学
		【選択授業】	80 アイティスト 装着レッスン
	66	テクニカル ヘアスタイルについて	81 アイティスト 接客学、装着レッスン
	67	テクニカル フォルムとシルエット	82 アイティスト 装着レッスン
	68	テクニカル デザイン考案	83 アイティスト 装着レッスン
	69	テクニカル *	84 アイティスト マーケティング学
	70	テクニカル ヘアデザイン画作成	85 アイティスト 下まつ毛装着レッスン
	71	テクニカル *	86 アイティスト 下まつ毛装着レッスン
	72	テクニカル ウイッグ制作（カット）	87 アイティスト 装着レッスン
	73	テクニカル *	88 アイティスト 試験対策（学科）
	74	テクニカル ウイッグ制作（セニング）	89 アイティスト 模擬試験（実技）
	75	テクニカル *	90 アイティスト 松風公認試験（筆記）
	76	テクニカル ウイッグ制作（ヘアカラー）	
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の前で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		